

京都ふるさと連の集い

連合会ニュース 創立30年記念特別号

発行所

「京都ふるさと連の集い連合会」事務局

郵便番号 604-8567

京都市中京区烏丸通夷川上ル
京都新聞COM事業局内

電話 直通 075 (255) 9759

FAX 075 (255) 9763

京都ふるさと連の集い連合会創立30年 祝辞

京都ふるさと連の集い連合会会長 白井 治夫



42県人会が加盟するまでに発展してまいりました。

京都ふるさと連では、「定時総会と懇親会」をはじめ「市内観光バスツアー・ビアパーティー」「ボウリング大会」「チャリティゴルフ大会」「ふるさと紹介・研修ツアー」など、県人会員の相互交流を推進する事業に取り組んできました。

京都ふるさと連では、創立30年にあたり記念講演会、記念新聞の発行、梅小路公園の植樹などの多彩な事業に取り組んでおります。

各県人会では、「高齢化」「会員減」など共通の課題を抱えるなかで、新規会員の加入に向けて創意工夫を続けておられることと思います。

京都ふるさと連でも若者の加入をめざしてホームページの開設や諸事業の充実に取り組み、未加入5県の県人会設立を今後の大きな課題としながら、47都道府県の京都ふるさと連への参加をめざして努力を続けて参る所存でございます。

結びに京都府、京都市、京都新聞のますますのご発展と、京都ふるさと連会員各位のご健勝、ご多幸を心から祈念いたします。

今回、創立30年という大きな節目を迎えることができましたのも、歴代の会長、役員、県人会・会員各位のたゆまぬ努力のおかげと感謝を申し上げます。

1985年に「全国女子駅伝」の応援をきっかけに、在洛31県人会が集まって発足した京都ふるさと連は、会員相互の親睦交流をはじめとして、地元京都と、ふるさとの絆を強めるための架け橋として、さまざまな活動を展開し、創立20年には35県人会、創立30年には

30年記念事業

◎記念講演会を開催

創立30年記念講演会を11月8日、京都商工会議所で開催しました。NPO法人ベースボールスプリッツ理事長の奥村幸治氏が「イチロー選手、田中将大選手たちとの出会いを通じて」、龍谷大学付属平安高等学校・硬式野球部監督の原田英彦氏が「野球を通じた教育」と題して講演しました。



11月27日に京都ブライトンホテルで開催。来賓祝辞、功労者表彰、祝舞、鏡開き、加盟県人会及び都道府県のご協力による「地酒試飲会」「ふるさと名産品抽選会」などを行います。

◎記念祝賀会

昭和63年5月に宇治市の山城総合運動公園（太陽が丘）の「ふるさとの森」で植樹を行いました。来年一月下旬に梅小路公園内に「梅」を植樹し30年の思いを各県人会の皆様と共有します。

◎記念植樹

◎京都ふるさと連のホームページ開設
ふるさと連の行事や日程、トピックスなどをホームページで閲覧できるとともに、各県人会個別の案内ページを設けることで、各々の県人会の紹介や関連情報を閲覧していただけるようになります。

京都ふるさと連の集い連合会
創立30年によせて

京都府知事 山田 啓二



京都ふるさと連の集い連合会の創立30年、誠にありがとうございます。

各県人会の皆様が、ふるさとと京都をつなぐ「かけはし」として活動が続けてこれ、昭和60年の創立から年を重ねるごとに、ふるさとを思う人々の輪を大きく、力強く育んでこれたことは、ひとえに白井会長をはじめ歴代役員の皆様、各県人会の会長並びに会員の皆様の御尽力があったからこそと、改めて深く敬意を表します。

とりわけ、鴨川納涼や全国女子駅伝の際には、京都を大いに盛り上げていただいております、毎年皆

様のお話を伺いながら、全国各地と京都が、皆様の活動を通じて、今も昔も変わらずつながっていることを実感し、大変嬉しく思っております。

京都には多くの県人会があること、そして京都と故郷との絆を大切にしながら頑張っていたら、いる大勢の皆様がおり、それが、京都にとっての大きな誇りであり、かけがえのない原動力であります。京都とふるさととの更なる発展のために、どうか今後ともお力添えをお願い申し上げます。

結びに当たり、京都ふるさと連の集い連合会がこの30年を機にますます発展されますことを、そして、会員の皆様の御健勝と御多幸を心からお祈りいたします。

京都ふるさと連の集い連合会
創立30年 祝辞

京都市長 門川 大作



「人はいつまでもふるさとを身に付けている」。ある詩人はそう言いました。

生まれ育った故郷を大切に思う心は誰もが持っているものです。それに加えて、京都ふるさと連の集い連合会の皆様は、第二のふるさと京都にも深い愛情を注いでくださっています。全国女子駅伝での力強い応援や夏の風物詩「鴨川納涼」への御参加など、まさに活力をもたらすお取組は大変ありがたいと、心強い限りです。白井治夫会長をはじめ、歴代の役員並びに会員の皆様に改めて深く敬意と感謝の意を表します

とともに、この度の貴会の創立30年を心からお慶び申し上げます。

貴会の設立された昭和60年、京都にお越しのお客様は3800万人あまりでした。それが、平成25年には5162万人にまで増加しています。これは貴会の皆様をはじめ、市民の皆様と共に進めてきたまちづくりの成果が表れたものと存じます。

今後も、市内外を問わず全ての人のため魅力に満ち溢れたまちの実現に全力を尽くしてまいりますので、引き続き御支援、御協力をお願い申し上げます。

結びに、貴会がますますの御発展を遂げられますこと、並びに会員の皆様の御健勝と御多幸を心から祈念いたします。

京都ふるさと連の集い連合会
創立30年 祝辞

京都新聞社代表取締役社長 黒田 清喜



京都ふるさと連の集い連合会の創立30年を心からお慶び申し上げます。

はじめ歴代の役員ならびに会員の皆様の努力の賜物と深く敬意を表します。

京都新聞グループは、京都ふるさと連の集い連合会の創立以来事務局をお預かりして、活動のお手伝いをしてまいりました。今年は京都新聞創刊135年の節目の年に当たります。今後も京都、滋賀のメディアの中核として読者の期待に応えていきたいと決意を新たにしております。全国女子駅伝など京都と皆様のあるさとを結ぶ事業のより一層の充実に皆様のご支援を賜りながら取り組み、地域の活性化に貢献していきたい、と考えております。

結びに京都ふるさと連の集い連合会のさらなる発展と会員皆様のご健勝、ご多幸を心から祈念いたします。



京都ふるさと連誕生の経緯

京都新聞社社友 亀井 励

「私は昭和59(1984)年、京都新聞日曜版に、京都にある県人会を紹介する連載記事を書いた。その間、各県人会の代表者を集ってもらって座談会を開いたが、出席者の中から、これをこの場限りにせず、連合会のようなものをつくってはどうかという声が出た。

その後、京都府の方からも、この連合会づくりを応援してもいいという意向が示され、京都新聞社も文化センタ

ーで事務局を引き受けることを決めた。これで一挙に話が進み、翌年8月に林田府知事、荒巻副知事、坂上京都新聞社長(いずれも当時)らも出席して発起人会を開催、10月には設立総会を京都ホテルで開いた」

以上は私が書いた県人会紹介の連載記事をまとめて昭和60(85)年に京都新聞文化センターから出版した『ふるさと』の集いー京都の県人会』のあとがきにあたる「京都にある県人会」という文章の概要です。

この文章にあるように、京都にある県人会の代表者が始めて集って話し合ってみて、それぞれの県人会には成り立ちや行事などに特色があり、交流す

ればお互いに活動の参考になることが多いことが分かったのです。

それまで県人会は故郷では知られていても京都では一般的に知られる存在ではありませんでした。それが連合体として活躍すれば京都でも知られる存在になり、知名度も広まる。こういった各県人会幹部の認識が深まり、連合会結成への情熱が高まったのです。

そこへもって京都府の知事、副知事に理解があり、担当者も熱心でした。担当者は私と一緒に先進県の愛知県の実情調査に名古屋まで出張してくれたりました。京都新聞社も良く理解して事務局を引き受けてくれました。こうして連合会は発足しました。

今では鴨川納涼など連合会の行事も定着し、県人会は京都市民にもよく知られる存在になりました。連合会をつくって良かった、とつくづく思っています。「(連合会をつくらうという)あんな声が出たからには、お前は責任をとれよ」県人会の座談会を司会した当時の編集局長が、座談会後に私に言った言葉を、今でもときどき思い出します。

特別寄稿



京都ふるさと連の創立30年に想う

京都徳島県人会名誉会長 矢田 精治

この度は京都ふるさと連の集い連合会創立30年おめでとうございます。

本連合会関係各位にはご同慶の至りでございます。心からお祝いを申し上げます。

この30年間の平成8年から18年までの10年間、本連合会の事業企画委員として活動参画いただきました私には、思い出も多く感慨無量なものがあ

ります。回想する当時の主な本連合会事業活動としては、「定時総会と懇親会」「全国女子駅伝」「全国車いす駅伝大会」「鴨川清掃美化運動」等の活動をはじめ、「鴨川納涼」への出店協力や平安建都1200年記念事業「京都まつり」へのふるさと各地芸能の招聘応援等がありました。また、印象的交流活動としては、毎年恒例開催の「実務者研修会と懇親忘年会」「ボウリング大会」「チャリティーゴルフ大会」のほか、太陽が丘「ふるさと森園遊会」「映画村ふるさと芸能大会」「京都ふるさと映画祭」「全国各ブロックふるさと紹介研修ツアー」など多種多様な事業を適時開催することができました。

当時の本連合会役員と企画委員をはじめ各県人会役員と当連合会事務局担当各位のご尽力に改めて敬意を表しておきたく存じます。

これらの30年間の本連合会の活動役割は、ふるさと連参加各県人会各位の活動により、実に素晴らしく大きな成果を果たしたものと自負されてよいと思っております。

しかし、一方、創立30年の成熟期である本連合会の近年の活動環境は、加盟各県人会会員の高齢化による世代交代に加え、各ふるさと意識高揚活動の気概減退現象も表れつつあり、また本連合会活動そのものも多少マンネリ化しつつあると言われている昨今、本連合会としての新たな活動展開計画の必要性を感じているところでもありますが、失礼勝手な要望を記しましたが、ご検討頂ければ幸甚に存じます。

結びに、この度の創立30年を契機に、本連合会活動の益々の拡充発展と加盟各県人会各位のご健勝とご活躍を祈念申し上げます。

京都ふるさと連の集い連合会
(元)事業企画委員会委員長

京都ふるさと連の集い連合会

主な記録

1985～2014

○県人会の正式な名称は、福島・千葉、京都を除いてそれぞれ頭に「京都」がつきます。

西暦	年号	会長	加盟県 人数	主な記録 【京都ふるさと連の集い連合会の記録】 【県人会の記録】	全国女子 駅伝優勝	国内外のできごと 【京都のできごと】 【日本・世界のできごと】
1983	昭和58	—	—	—	千葉	●第一回全国都道府県対抗女子駅伝競走大会開催
1984	昭和59	—	—	京都新聞日曜版で「ふるさと」の集い」とした連載記事で京都・関西の38県人会を紹介	京都	●グリコ森永事件
1985	昭和60	伊東 祐純(大分)	32	●8月28日…31県人会の代表による懇談会 ●10月30日…京都ふるさと連の集い連合会設立総会(32県人会) ●ふるさと連ニュース第1号発行 ●福井県人会/50周年 ●熊本県人会/設立総会	千葉	●NTT、J.Tの民営化スタート ●日航ジャンボ機墜落 ●「科学万博1つくば85」が開催
1986	昭和61	伊東 祐純(大分)	32	●6月9日…定時総会(32県人会) ●8月9・10日…鴨川納涼参加(3県人会)【現在まで継続】 ●11月2日…全国ふるさと連の森 第1回植樹式(21県人会) ●秋田県人会/設立総会 ●岡山県人会/25周年 ●関西福島県人会京都支部会/発足 ●栃木県人会/発足	鹿児島	●三原山噴火 ●スペースシャトル、チャレンジャー号爆発事故 ●チェルノブイリ原発事故
1987	昭和62	美馬 陽(徳島)	32	●6月13日…定時総会(32県人会) ●沖縄県人会/設立総会 ●全京都石川県人会/30周年 【現在まで継続】	神奈川	●府総合見本市会館開館 ●舞鶴若狹自動車道が開通 ●国鉄を11の新会社に分割・民営化、新生J.Rが誕生 ●利根川教授がノーベル医学・生理学賞を受賞
1988	昭和63	長谷川 実(福井)	36	●5月14日…ふるさと連の森完成植樹式(36県人会) ●5月14日…定時総会(36県人会) ●8月4日…実務者会議(30県人会) ●京都愛媛県人会、全京都石川県人会/ふるさと連加盟 ●兵庫県人会/設立総会	京都	●地下鉄烏丸線、京都・竹田間が開通 ●京都国体開催 ●京都縦貫自動車道、京奈和自動車道、京滋バイパスが開通 ●青函トンネル開業
1989	平成元	矢尾 政市(兵庫)	36	●6月2日…定時総会(36県人会) ●青森県懇話会から青森県人会に名称変更	京都	●昭和天皇崩御 ●消費税施行、税率3% ●日経平均株価が史上最高値 ●中国天安門流血事件 ●ベルリンの壁崩壊
1990	平成2	小柳美代子(秋田)	36	●2月25日…第1回全国車いす駅伝競走大会 応援【現在まで継続】 ●6月6日…定時総会(36県人会) ●秋田県人会/50周年 ●新潟県人会/再発足総会	京都	●地下鉄烏丸線北山・北大路間が開通 ●バブル崩壊 ●大阪で「花の万博」開催 ●イラクがクウェート侵攻
1991	平成3	増山義三郎(滋賀)	37	●6月12日…定時総会(37県人会) ●雲仙普賢岳噴火 ●佐賀県人会/40周年	京都	●第42回全国植樹祭開催 ●雲仙・普賢岳で火砕流 ●イラク空爆開始で湾岸戦争勃発 ●ソビエト連邦崩壊
1992	平成4	麻生 文雄(広島)	37	●6月19日…定時総会(37県人会) ●9月17日…実務者交流会開催(32県人会)【現在まで継続】 ●岩手県人会/10周年 ●石川県人会/京都連合会20周年 ●岐阜県人会/90周年 ●大分県人会/60周年 ●京都さぬき会(香川)/20周年	京都	●毛利宇宙飛行士がスペースシャトルで宇宙へ ●PKO法案の成立 ●不況の深刻化と過去最大規模の大型景気対策
1993	平成5	増山義三郎(滋賀)	37	●6月25日…定時総会(37県人会) ●10月20日…第1回チャリティーゴルフ大会開催(14県人会)【現在まで継続】 ●福岡県人会/60周年	大阪	●関西文化学術研究都市に、けいはんなプラザ、国際高等研究所、地球環境産業技術研究機構が開所 ●Jリーグ開幕
1994	平成6	増山義三郎(滋賀)	37	●7月1日…定時総会 ●京都ふるさと連の集い連合会 創立10周年記念式典 ●平成6年度より年会費2万円から3万円に変更 ●11月6日…第1回京都まつり 参加 ●青森県人会/10周年 ●北海道クラブ/30周年	千葉	●平安建都1200年記念事業 ●ユネスコの世界文化遺産に「古都京都の文化財」17か所が登録 ●大江健三郎氏ノーベル文学賞受賞
1995	平成7	川原 陸郎(大分)	36	●6月5日…定時総会(36県人会) ●阪神大震災義援金 ●秋田県人会/10周年 ●宮城県人会/100周年 ●熊本県人会/10周年 ●山形県人会/10周年	宮崎	●阪神・淡路大震災が発生 ●地下鉄サリン事件発生 ●野茂が米大リーグで活躍、新人王も獲得
1996	平成8	川原 陸郎(大分)	35	●6月17日…定時総会(35県人会) ●京都連合会/90周年 ●石川県人会/組織一本化 ●島根県人会/35周年 ●関西福島県人会京都支部会/10周年	京都	●「京都パープルサンガ」がJリーグ加盟 ●小選挙区比例代表並立制による初の総選挙実施
1997	平成9	佐藤 健夫(宮城)	34	●6月10日…定時総会(34県人会) ●沖縄県人会/10周年 ●茨城県人会/発足総会	熊本	●「地球温暖化防止京都会議」開催 ●4代目京都駅ビルが開業 ●消費税率を5%に引き上げ ●香港、中国に返還

2014	平成26	白井 治夫(滋賀)	42	●4月22日…定時総会 ●北海道クラブ/50周年 ●鹿児島県人会/50周年	●11月27日…京都ふるさと連の集い連合会創立30年記念式典	京都	●消費税が5%から8%に引き上げ ●ノーベル物理学賞に赤崎、天野、中村氏 ●映画「アナと雪の女王」ブーム
2013	平成25	白井 治夫(滋賀)	42	●4月23日…定時総会 ●宮城県人会/50周年	●ふるさと京都連/10周年 ●福岡県人会/80周年	神奈川	●「和食」無形文化遺産に ●富士山が世界文化遺産に決定 ●2020年夏季五輪・パラリンピックの開催地が東京に決定
2012	平成24	有賀 一夫(長野)	41	●4月24日…定時総会 ●香川県人会/40周年	●京都ふるさと連の集い連合会ニュース1000号発行	大阪	●第一回京都マラソン開催 ●山中教授がIPS細胞作製でノーベル医学・生理学賞受賞
2011	平成23	有賀 一夫(長野)	41	●4月22日…定時総会 ●大阪県人会/設立総会	●岡山県人会/50周年	京都	●第26回国民文化祭開催 ●東日本大震災M9・0、福島原発で大津波による大事故
2010	平成22	武田 敏夫(愛媛)	40	●4月23日…定時総会 ●滋賀県人会/50周年	●東京府人会/設立総会	岡山	●第二京阪道路全線開通 ●ノーベル化学賞に梶原英一、鈴木章氏
2009	平成21	武田 敏夫(愛媛)	39	●4月24日…定時総会 ●神奈川県人会/設立総会 ●愛媛県人会/10周年	●京都ふるさと連の集い連合会25周年記念事業 ●徳島県人会/45周年 ●北海道クラブ/45周年 ●静岡県人会/25周年 ●青森県人会/25周年	京都	●「ミシュランガイド京都・大阪」初めて発売 ●衆議院選挙、民主大勝利政権交代 ●裁判員裁判がスタート ●米国、黒人初のオバマ大統領就任
2008	平成20	杉山 修(静岡)	38	●4月25日…定時総会 ●三重県人会/設立総会	●島根県人会/45周年 ●大分県人会/75周年	京都	●地下鉄東西線二条〜天神川間延伸開通 ●北海道洞爺湖でサミット開催 ●リーマンショック
2007	平成19	杉山 修(静岡)	37	●4月26日…定時総会 ●茨城県人会/10周年	●愛知県人会/設立総会	京都	●木津川市誕生 ●参議院選挙で自民大敗、民主が第一党
2006	平成18	石川公三(北海道)	36	●4月28日…定時総会 ●沖縄県人会/20周年	●熊本県人会/20周年 ●宮崎県人会/40周年	京都	●「南丹市」「与謝野町」「福知山市」誕生 ●京都国際マンガミュージアム開館
2005	平成17	石川公三(北海道)	36	●4月28日…定時総会 ●秋田県人会/20周年	●熊本県人会/20周年 ●宮崎県人会/40周年	京都	●京都迎賓館が開館 ●JR福知山線脱線事故
2004	平成16	藤本 忠雄(熊本)	36	●4月26日…定時総会 ●6月13日…鴨川クリーンハイク初参加 ●ふるさと京都連・ふるさと連加盟 ●鹿児島県人会/40周年 ●鹿兒島県人会/40周年 ●宮城県人会/110周年 ●青森県人会/20周年	●京都ふるさと連の集い連合会創立20周年記念式典 ●北海道クラブ/40周年 ●徳島県人会/40周年	兵庫	●地下鉄東西線 醍醐〜六地蔵間延伸開通 ●「京丹後市」誕生 ●自衛隊イラク派遣 ●新潟県中越地方でM6・8の地震発生 ●イチロー、メジャー・シーズン最多の262安打
2003	平成15	藤本 忠雄(熊本)	35	●4月25日…定時総会 ●福岡県人会/70周年	●島根県人会/40周年 ●岩手県人会/20周年 ●大分県人会/70周年	兵庫	●京滋バイパス全線開通 ●「千と千尋の神隠し」がアカデミー賞受賞 ●イラク戦争開戦
2002	平成14	内田 清一(福井)	35	●6月21日…定時総会 ●岐阜県人会/100周年	●香川県人会/30周年	京都	●日韓ワールドカップ開催、日本ベスト16進出 ●北朝鮮拉致被害者5人帰国 ●田中耕一氏ノーベル化学賞、小柴教授ノーベル物理学賞
2001	平成13	内田 清一(福井)	35	●6月22日…定時総会 ●佐賀県人会/50周年		兵庫	●「新風館」オープン ●中央庁再編 ●小泉内閣発足 ●野依教授らにノーベル化学賞 ●9・11アメリカ同時多発テロ
2000	平成12	内田 清一(福井)	35	●6月22日…定時総会(35県人会) ●愛媛県人会/再興結成総会		長崎	●小淵首相、脳梗塞で倒れ急死 ●三宅島噴火 ●白川博士にノーベル化学賞 ●沖縄サミット開催
1999	平成11	内田 清一(福井)	34	●6月8日…定時総会(34県人会) ●11月16日…ふるさと紹介・研修ツアー開催(4県人会) ●徳島県人会/35周年	●事業企画委員新設 ●【現在まで継続】	福岡	●EUが単一通貨ユーロを導入 ●2000年問題
1998	平成10	佐藤 健夫(宮城)	34	●1月11日…全国女子駅伝 ●6月12日…定時総会(34県人会) ●茨城県人会/ふるさと連に加盟	●【現在まで継続】	埼玉	●日吉ダム完成 ●第18回冬季オリンピック長野大会が開催 ●第16回サッカーW杯仏大会に日本が初出場

【北海道・東北】

京都宮城県人会

県花＝ミヤギノハギ 県木＝ケヤキ 県鳥＝ガン

〒612-8121 京都市伏見区向島善阿弥町38
TEL 0774 (23) 3873

会長 小野寺 剛

沿革 明治28年花園蟠桃院で「肅雍会」設立、その後「仙台藩人会」「仙台会」と改称しながら昭和51年京都宮城県人会として再発足、平成7年に100周年記念総会開催、平成27年に120周年を迎える。

年間行事 1月／都道府県対抗女子駅伝競走選手団激励、応援、選手団慰労会、県人会新年会 2月／京都マラソン3県合同イベント協賛、全国車いす駅伝競走応援 6月／県人会定期総会 8月／鴨川納涼ふるさと屋台村出店 11月／北海道・東北ブロックグランドゴルフ大会参加、関西宮城県人会との交流会 その他／毎月1回役員会開催

京都北海道クラブ

県花＝ハマナス 県木＝エゾマツ 県鳥＝タンチョウ

〒603-8322 京都市北区平野宮本町83番地
石川つづれ株式会社内
TEL 075 (461) 1161

会長 石川 公三

沿革 1964年、北海道人の会と札幌を中心とした北都会が合併し、京都北海道人会を発足。1976年に京都北海道クラブに改名、現在に至る。

特色 今年、50周年を迎えた当クラブは約130人の会員を有し、年間を通じて様々な活動をしている。年始の女子駅伝から始まり、こども環境フェスタ、鴨川納涼等、会員一丸となって郷土と京都の発展に寄与している。特に今年は芝田山親方(元横綱大乃国)が顧問に就任され、さらに元気いっぱい活動する。

京都秋田県人会

県花＝ふきのとう 県木＝秋田杉 県鳥＝やまどり

〒520-3103 滋賀県湖南市石部町宝来坂1-10-20
TEL 0748 (77) 3792

会長 豊島 寅三

沿革 創立S60年 H2年／創立5周年(小柳会長) H7年／創立10周年(藤原会長) H17年／創立20周年(池端会長・新名簿発行) H22年／創立25周年(池端会長)

年間行事 1月／新年会 4月／花見会 6月／春の交流会 8月／ビアパーティ 10月／きりたんぽ会

特色 高齢化で会員の減少が心配だが、各行事で親睦を深め、同郷の絆を高めている。酒と民謡で 宴会はおおいに盛り上がる。

京都青森県人会

県花＝りんごの花 県木＝ヒバ 県鳥＝ハクチョウ

〒606-0087 京都市左京区下鴨泉川町55
TEL 075 (701) 5767

会長 山口 義久

沿革 昭和59年懇話会の名称で発足、63年から現在の名称。平成6年京都まつりに青森ねぶたを招請するなど、郷土と京都の架け橋として、今年30周年を迎えた。

年間行事 新年の女子駅伝当日、西京極の屋台村でおでんを販売した後で総会を開催、懇親会は選手団の慰労を兼ねる。春は背割堤でお花見、夏は鴨川納涼で産地直送のホタテを焼いて売り、秋は桂川の畔でバーベキュー懇親会を開催する。近畿青森県人会と緊密に連携しているので、相互の行事に参加し合えるのも特色。

京都山形県人会

県花＝べにばな 県木＝さくらんぼ 県鳥＝オシドリ

〒605-0073 京都市東山区祇園町北側271 俵屋画廊内
TEL 075 (561) 8303

会長 松本 顕龍

沿革 1983年1月／第1回全国女子駅伝選手陣中見舞い 1984年12月／県人会準備会開催 1985年1月／京都山形県人会発足 1995年12月／県人会10周年記念式典 2004年1月／20周年記念総会、記念誌発行 7月／故郷訪問旅行

年間行事 1月／全国女子駅伝応援＆玉こんにゃく販売、総会＆選手慰労会 4月／花見会 7月／納涼ビアパーティー 8月／鴨川納涼祭 10月／桂川河川敷いも煮会

特色 「自ら進んで尽くす」をモットーに、故郷の人情・風土・物産を愛し、親睦と交流を深めている。山形の自然風景、歴史などをひろめ、故郷の発展に努めている。

京都岩手県人会

県花＝キリ 県木＝ナンブアカマツ 県鳥＝キジ

〒606-8102 京都市左京区高野清水町92-1-205 熊谷 方
ホームページ <http://kyotoiwate.main.jp>
TEL 075 (703) 1687

会長 及川 光夫

沿革 83年1月発足、女子駅伝・高校駅伝ほか故郷代表を応援。10、20、25周年記念式典挙行。東日本大震災により30周年を中止し35周年式典を予定。

特色 “ふるさとの山に向かひて言うことなしふるさとの山は有難きかな”の啄木の郷里を想う心情を会員誰もが他県に負けず強く抱いている。会員相互の親睦をはかるとともに県との連携を密にした活動も大切にしている。東日本大震災直後から年間数回のふるさと復興応援活動を継続中。

京都富山県人会

県花=チューリップ 県木=立山杉 県鳥=雷鳥

〒604-8152 京都市中京区烏丸通錦小路上る
北陸銀行京都支店内
TEL 075 (221) 7011

会長 岩城 龍夫

沿革 大正7年に平安富山県人会として発足して以来96年の歴史、本年第154回総会を開催、平成26年10月現在の会員285名。

年間行事 1月全国女子駅伝大会富山県チーム応援活動、6月総会並びに懇親会開催、8月鴨川納涼出店、他富山県からのスポーツ、文化・芸能活動を応援・観覧。

特色 ふるさと富山を縁に老いも若きも楽しく語り合える会。富山県や他の諸団体と連携してふるさと富山の発展を応援している。

京都石川県人会

県花=クロユリ 県木=あて(能登ひば) 県鳥=イヌワシ

〒612-8401 京都市伏見区深草下川原町1-1
コトーハイツ伏見稲荷 B-615
TEL 075 (643) 4281

会長 川本 八郎

沿革 昭和43年頃は出身地を冠名に、京都府内に24の県人会が存在。昭和47年合従連合し石川県京都連合を結成し、平成8年に現在の名称に変更。

年間行事 全国女子駅伝の応援、新年会、総会、親睦一泊旅行、女子部小旅行、会報(いしかわ)年2回発行、5年に一回の石川県人会全国大会に参加。

特色 石川県に想いを馳せ、新たな出逢いを求める『石川県の応援団』。親睦の輪を拡大する仲良し集団で、年会費2千円は京都で最も安い会費と自負。

京都福井県人会

県花=スイセン 県木=マツ 県鳥=ツグミ

〒604-8306 京都市中京区門前町167 神泉苑平八内
TEL 075 (801) 0886

会長 越後 修身

沿革 昭和10年(1935年)設立、来年(2015年)80周年を迎えます。設立初期の記録は残っていないが、昭和58年(1983年)以降は会報誌で活動の歴史が確認できる。

年間行事 総会・懇親会(春)、鴨川納涼(夏)、親睦旅行(秋)、全国高校駅伝応援、全国女子駅伝応援・慰労会(冬)、毎月第四金曜日に『福井県人の集い』を開催。

特色 ふるさと連の中でも最も古い歴史を持つ県人会の一つ。近年の高齢化からの若返りを進めており、昨年『青年局』開設。若手会員主導で80周年事業を推進。

関西福島県人会

県花=ネモトシクナゲ 県木=ケヤキ 県鳥=キビタキ

〒530-0001 大阪府大阪市北区梅田1-3-1-900
大阪駅前第1ビル9階 福島県大阪事務所内
TEL 06 (6343) 1721

会長 副会長(代行者選考中)

沿革 関西地方2府4県に在住する福島県出身者を中心に昭和34年に設立され、平成26年で設立55周年となる。

年間行事 家族会やスポーツ大会における福島県代表の応援を行っている。また、東日本大震災以降は、ふるさと支援として募金活動や物産PRに力を入れている。

特色 郷土の偉人である野口英世博士に敬意を込め、毎年10月に開催する家族会において箕面公園(大阪府)にある野口英世銅像の清掃を行っている。

【北陸・甲信越】

京都新潟県人会

県花=チューリップ 県木=ユキツバキ 県鳥=トキ

〒603-8316 京都市北区衣笠北荒見町9-1-403
TEL 080 (1094) 5672

会長 金子 敏雄

沿革 会員相互の親睦を図るとともに郷土との結びつきを深めようと、各分野で御活躍されていた先輩方の御尽力により、平成3年1月に設立された。

特色 本州の日本海側北部に位置し、佐渡島・粟島を含めた新潟県は、四季折々、豊かな自然に恵まれ、米処・酒処として全国に知られているところですが、さらに・・・本県を南北に縦貫する海岸線のいずれの箇所からでも観賞できる「日本海に沈む夕日の美しさ」を皆さまには実感・体感していただきたい。

京都長野県人会

県花=りんどう 県木=しらかば 県鳥=らいちょう

〒604-8085 京都市中京区麩屋町三条上ル下白山町
306の1の1001号 有賀 一夫 方
TEL 075 (213) 3968

会長 有賀 一夫

沿革 昭和初期に発足した「京都信濃会」が前身。幾多の変遷を経て、昭和47年4月7日に現在の「京都長野県人会」に引き継がれ今日に至っている。

年間行事 ▽定時総会、懇親会の開催▽新年祝賀会兼都道府県対抗女子駅伝選手団慰労会の開催▽鴨川納涼等の行事への参加▽県人会会報の発行

特色 ▽会員要件に幅を持たせ、長野県出身者以外の「信州大好き」な方々に協力会員となって頂き共に活動▽家族会員(配偶者等)は年会費免除

【関東・東海】

京都静岡県人会

県花=つつじ 県木=もくせい 県鳥=さんこうちょう

〒600-8465 京都市下京区高辻西洞院町799
森重(株)内
TEL 075 (361) 6516

会長 森重 雅彦

沿革 1984年、前会長杉山修のよびかけで、京都東急ホテルに35名が集まり出発した。地道な活動を続け現在の会員数は100数名。

年間行事 女子駅伝応援、総会&新年会、おとなのハイキング、機関紙6回/年発行。ふるさと連のバスツアー、ボーリング、ゴルフ、旅行、忘年会等に参加。

特色 女子駅伝の選手団に舞妓さんを囲んだ総勢100名強の慰労会。上賀茂神社葵使いの行列に参加し、預かったふたば葵を静岡まつり主催の静岡市長に贈呈。

京都茨城県人会

県花=バラ 県木=ウメ 県鳥=ヒバリ

〒615-8074 京都市西京区桂南巽町102
TEL 075 (381) 8011

会長 星野 昭謙

沿革 平成9年の京都女子駅伝の際に、新聞・ラジオや会場での呼びかけで会員を集め、同年6月に発足。駅伝応援を柱として活動を続けて現在に至る。

年間行事 新年会・総会(6月)が主要行事で、高校駅伝や女子駅伝の応援には多くの会員が集まる。他に花火大会鑑賞やハイキングなどのイベントも実施。

特色 会員数があまり多くないため、お互いによく知っており、非常に和やかに、家族的な会合がもてる。

京都愛知県人会

県花=カキツバタ 県木=ハナノキ 県鳥=コノハズク

〒604-0846 京都市中京区両替町押小路上の金吹町465
TEL 075 (254) 5251

会長 山中 秀男

沿革 平成19年10月28日 広瀬来三初代会長 設立総会を京都ホテルオークラで開催した。出席者60名。記念講演は柏原康夫京都銀行頭取(当時)。現会長山中秀男は二代目会長。

年間行事 都道府県対抗女子駅伝、車椅子駅伝、高校男子、女子駅伝の応援、激励、慰労。毎年総会には愛知県出身の著名人を招聘。鴨川納涼出店。

特色 多士済々の人材を会員に擁し、折に触れ企業訪問したり、柏原康夫京都銀行会長の講演会を開催したり、夏の納涼会は嵐山法輪寺で京都を一望に見下ろす野外会場で会員家族総出の懇親会をする。

京都東京都人会

県花=ソメイヨシノ 県木=イチヨウ 県鳥=ユリカモメ

〒612-0029 京都市伏見区深草西浦町8-133-1
(株)ヒトミ内
TEL 075 (641) 4121

会長 池坊 保子

沿革 2010年4月、ふるさと連武田会長(当時)のお声掛けにより、池坊保子会長、麻生純副会長、湯浅栄人副会長、有馬頼底顧問、九条道弘顧問、東伏見慈晃顧問を中心に設立された。

年間行事 年間の行事はそれほど多くないが、総会での「旭日大綬章」揭示、京都御所内「京都迎賓館」見学会、青蓮院門跡「青龍殿」見学会など、貴重な機会を提供している。

京都岐阜県人会

県花=れんげ草(げんげ) 県木=イチイ 県鳥=ライチョウ

〒600-8804 京都市下京区中堂寺前田町25
俣野・古田合同司法書士事務所内
TEL 075 (351) 2227

会長 山本 淳(きよし)

沿革 明治35年創立総会を39名で「八新亭」で開催。以後10年ごとに記念事業を開催。平成24年には110周年記念事業をホテルグランヴィアで開催。

年間行事 全国女子駅伝応援。全国車いす駅伝応援。総会。郡上おどりin京都。鴨川納涼。秋の「ふるさと旅行」。全国高校駅伝応援ももちつき大会など。

特色 毎年6月の第一金・土に、ゼスト御池ならびに京都市役所庁舎前広場をお借りしての郡上おどりin京都も来年は第8回を迎える。

京都神奈川県人会

県花=やまゆり 県木=いちよう 県鳥=ゆりかもめ

〒604-0922 京都市中京区東生洲町482
TEL 075 (231) 0935

会長 久保 義介

沿革 平成21年2月8日当時の京都ふるさとの集い連合会 会長・京都静岡県人会 会長 杉山修氏のご指導のもと、聖護院御殿荘に於いて、設立総会が催され、現在に至る。

年間行事 皇后杯全国都道府県対抗女子駅伝応援、年次総会、家族懇親会、見学会、クリスマス家族会、ふるさとの集い連合会主催行事への参加等。

特色 「楽しい輪を拓けよう」をテーマに各年齢層の会員が集っている。学生会員は会費1,000円。

ふるさと京都会 県花=しだれ桜 県木=北山スギ 県鳥=オオミズナギドリ

〒606-0098 京都市左京区上高野沢測町2-8
TEL 075 (722) 7201

会長 中野 代志男

沿革 結成日 2004年3月24日。目的 会員相互の親睦を図り、各県人会との連携、交流を通して京都の発展に寄与する。

年間行事 ▽新春の集い▽総会▽連合会事業に参加▽各県人会事業に参加

特色 各県人会との交流を深め、古里の良さを京都に広め、一方で京都の良さを古里に広めていただくことを特に進めている。

関西千葉県人会

県花=菜の花 県木=マキ 県鳥=ホオジロ

〒660-0801 大阪市天王寺区真田山町2-2
東興ビル807号 ナガラライズ(株)内
TEL 06 (6767) 8812

会長 中台 修二

沿革 1970年京阪神千葉県人会として活動開始。1983年関西千葉県人会として新発足。2003年千葉県事務所が撤退し、自主運営組織として活動開始。

年間行事 総会及び懇親会、関西を知ろう会、女子駅伝の応援、新春交流会、その他(高校野球応援・県人会便り発行・若手交流会・京都ふるさと連行事への参加)

特色 会員は、70名程度。同郷の方と語り合いたい、故郷の話を聞きたいという人たちが集まる、こじんまりと和気あいあいとした会である。

【近畿】**京都大阪人会**

県花=桜草・梅 県木=銀杏 県鳥=モズ

〒614-8104 八幡市川口東頭1-1
泉電熱株式会社 京都工場内 城之園 哲朗
TEL 075 (983) 2111

会長 並松 信久

沿革 平成23年4月設立

特色 現在の会員登録数60名

京都三重県人会

県花=ハナショウブ 県木=神宮スギ 県鳥=シロチドリ

〒616-8144 京都市右京区太秦百合ヶ本町19-1
ワコー住建内 田尻 昇
TEL 075 (872) 7739

会長 岩田 武久

沿革 平成20年6月発足。ふるさと連38番目の県人会。全国女子駅伝出場の元金メダリストの野口みずき選手(伊勢市出身)の応援をきっかけに誕生。現在会員数約50名。

年間行事 ▽定例総会及び役員会、理事会を数回開催▽鴨川納涼、チャリティーゴルフ参加▽納涼ビアパーティー開催▽全国女子駅伝大会応援と屋台出店▽県人会仲間の交歓会。

特色 会員相互の連帯感を養い、郷土愛を高揚し相互の親睦を通じて共存共栄を図ると共に郷土三重と京都の繁栄に寄与する。

京都兵庫県人会

県花=ノジギク 県木=クスノキ 県鳥=コウノトリ

〒601-8151 京都市南区上鳥羽塔ノ森東向町66
(株)アースカーゴ内
TEL 090 (3168) 5000

会長 西畑 義昭

沿革 会員相互の親睦をはかり、郷土愛を高揚し、郷土の発展に寄与することを目的に1988年10月設立。(初代会長/矢尾政市氏。1998年より現会長)

年間行事 ①年次総会(全員参加)②全国女子駅伝大会他、都道府県対抗競技の応援③会食懇親会(年2~3回)④鴨川納涼会他、京都ふるさと連事業に出席参加。

特色 「こじんまり」と「家族的」な組織づくりをめざしている。現在、会員募集中。(入会金なし。年会費1家族3千円)

京都滋賀県人会

県花=シャクナゲ 県木=モミジ 県鳥=カイヅブリ

〒605-0037 京都市東山区三条通白川橋東入ル二丁目
西町126番地
TEL 075 (761) 6755

会長 白井 治夫

沿革 昭和35年結成。47年京都滋賀会館設立。結成時からの盆踊を『江州音頭フェスティバル』として57年から大々的に実施。創立50周年に「三十石船」を寄贈。

年間行事 理事会(年2回)、総会、新年会。事業は江州音頭フェスティバル、鴨川納涼、バスツアー、ゴルフコンペ(年2回)、会報発行(年2回)など。同好会活動。

特色 琵琶湖の水を共有した京都と滋賀。近江聖人「中江藤樹」と近江商人の「三方良し」の精神に則り両府県を繋ぐ伝統と文化を継承し、会員相互の親睦を図る。

京都岡山県人会

県花＝モモ 県木＝アカマツ 県鳥＝キジ

〒601-8445 京都市南区西九条菅田町15
京都三菱自動車販売株式会社内
TEL 075 (662) 7600

会長 伊藤 謙介(京セラ株式会社 顧問)

沿革 昭和37年6月、設立総会で106名が出席して初代会長 滝川幸辰(元京大総長)が就任、以降活動を続け、平成12年から第5代現会長、会員135名。

年間行事 総会、新年会・全国女子駅伝応援・選手団慰労会、三日会(毎月)、ふるさと訪問旅行、機関紙発行、全国車いす駅伝応援、ゴルフ、ふるさと連行事参加。

特色 三日会行事で会員のスピーチ、誕生月者御祝い贈呈、誕生者・新会員・ゲストスピーチ、懇親会、ふるさと訪問旅行で岡山県関係者と面接、情報交換。

京都和歌山県人会

県花＝ウメ 県木＝ウバメガシ 県鳥＝メジロ

〒607-8152 京都市山科区東野八代33-25
TEL 075 (592) 5060

会長 松尾 忠昌

沿革 当会は明治22年の県各地の大水害と、同25年南紀勝浦沖の大海難事故に対し、被災者、遺族救済のため同25年12月末に県出身者が集まったのが設立のルーツ。

年間行事 会報「紀洛」発行、1月全国女子駅伝応援、6月6日「梅の日」記念紀州梅道中参加、6月定期総会、8月鴨川納涼、12月忘年会、近畿の和歌山県人会と交流。

特色 かつては紀州徳川家「南葵育英会」による京都帝大卒業生や京都府市の職員や教職員等で組織された県人会であった。湯川秀樹氏、松下幸之助氏も元会員。

【中国】

京都広島県人会

県花＝紅葉 県木＝紅葉 県鳥＝アビ

〒612-0029 京都市伏見区深草西浦町4-62
(株)アースワーク内 宮城 誠映
TEL 075 (646) 3888

会長 向井 博一

沿革 大正7年(1918年)1月21日発足。京都在住の広島県出身者で構成された親睦団体。平成30年(2018年)1月で100周年を迎える。現会長(向井博一氏)は11代目。

年間行事 1月新年家族交歓会(新年の祝賀会)、6月定例総会(重要承認)、8月鴨川納涼祭出店、10月新入会(新入会員と役員等)、11月秋季懇親会、年2回会報発行。

特色 広島県出身者やその縁故者の親睦団体。会員相互の親睦を最重要テーマに運営している。会員数は112名。2018年1月には100周年記念事業を計画。

京都鳥取県友会

県花＝二十世紀梨の花 県木＝ダイセンキョウボク 県鳥＝オシドリ

〒604-8872 京都市中京区四条千本東入ル
東邦電気産業(株)内
TEL 075 (811) 7131

会長 加嶋 敬

沿革 昭和36年6月設立。途中県友会と名前を変更してからも、伝統の行事を脈々と引き継ぎ今に至る。会員数46名(H26.9現在)。

年間行事 ①総会及び春の懇親会②招魂祭及び秋の懇親会③全国高校駅伝及び全国都道府県女子駅伝への激励④全国都道府県女子駅伝屋台村への出店

特色 東山にある京都霊山護国神社鳥取藩招魂社への参拝。ここには幕末の動乱で命を落とした87人の藩士達が祀られており、毎年10月14日にお参りをしている。

京都山口県人会

県花＝夏みかん 県木＝アカマツ 県鳥＝ナベヅル

〒607-8327 京都市山科区川田山田15-27 原田 洋嗣
TEL 090 (3922) 1557

会長 中村 正

沿革 1984年京都ふるさととの集い連合会の誕生に合わせ設立。初代会長／内良義勝(1984～94)、二代会長／平井芳人(1994～2007)、三代会長／佐伯紘史(2007～11)、四代会長／中村正(2011～)。

年間行事 4月春の観桜会、6月第1日曜日総会・懇親会、7～10月長州藩幕末殉難志士法要、慰霊祭に参加、11月秋の紅葉狩り、12～2月高校駅伝・女子駅伝・車いす駅伝応援

特色 高校駅伝・女子駅伝の応援や、コーチ、補助スタッフの競技場や中継点への輸送が主な活動。近年20～40歳の会員も増え、YYG(山口ヤングクラブ)が活動を展開中。

京都島根県人会

県花＝牡丹 県木＝黒松 県鳥＝ハクチョウ

〒607-8162 京都府京都市山科区栂辻草海道町12-7
タケナカビル5F
TEL 075 (583) 2611

会長 林 邦幸

沿革 昭和38年祇園の出雲そば店「八雲」で有志が集まり県人会発足。「清涼寺」にて第一回総会を開催。昨年50周年を迎え、新たな半世紀に向けてスタート。

年間行事 女子駅伝島根チーム応援激励・出雲そば販売・園遊会・ふるさと訪問・石見神楽奉納・鴨川納涼・総会・餅つき大会・会員の集い「二水会」・歩こう会 など

特色 全役員が力を合わせ催事に参加。出雲・石見・隠岐の垣根を越え智慧を寄せ合い、会員が年齢や好みに合わせて参加できるよう様々な活動をしている。

【四国】

京都高知県人会 県花＝ヤマモモ 県木＝ヤナセスギ 県鳥＝ヤイロチョウ

〒601-8001 京都市南区東九条室町23
エフビットコミュニケーションズ(株)内
TEL 075 (672) 5500

会長 吉本 幸男

沿革 昭和22年11月15日設立。坂本龍馬の誕生日かつ
命日(旧暦)である「11月15日」に県人会結成。

年間行事 花見&ふるさと物産市出店(四国合同)、総
会、全国女子駅伝&車椅子駅伝応援・激励、坂本龍馬・
中岡慎太郎墓前祭斎行、銅像清掃。

特色 隔年で会報・会員名簿を発行。幕末に京都を基点
に活躍した坂本龍馬、その息吹の感じられる「高知」の
魅力を、会員一丸となってPRする。

京都香川県人会

県花＝オリーブ 県木＝オリーブ 県鳥＝ホトギス

〒600-8856 京都市下京区梅小路本町25
梅小路スカイハイツA棟515号 藤岡 一司 方
TEL 075 (315) 0034

会長 陸奥田 義弘

沿革 昭和49年10月設立。一昨年40周年事業として記
念誌を発行した。

年間行事 総会、趣味の会(小旅行、ゴルフ、麻雀、カ
ラオケ)、四国人会総会、女子駅伝にさぬきうどん出店、
鴨川納涼に物産販売。

特色 ふるさとと近隣県人会との交流を通じて会員相互
の親睦をはかっている。

【九州】

京都福岡県人会

県花＝梅 県木＝久留米つつじ 県鳥＝鶯

〒616-0007 京都市西京区嵐山元禄山町2-15
久保山 訓男 方
TEL 075 (872) 8660

会長 荒巻 禎一

沿革 博多出身者が20名ばかり、大正10年頃大いにお
国言葉で語り合おうと「ばってん会」と名付けて楽しん
でいた集いを、昭和8年に発展的に解消して発足。

年間行事 1月／新春総会及び全国都道府県女子駅伝選
手団慰労会 6月／定時総会 7月／鮎狩り 8月／鴨川
納涼 10月もしくは11月／リクレーション

特色 80年の歴史で、会長が4人、4代目の現会長が今
期就任だから3人ではば80年つとめている。鮎狩りは
滋賀県高島市の九州人会との交流の場になっている。

京都徳島県人会

県花＝スダチ 県木＝ヤマモモ 県鳥＝シラサギ

〒615-0091 京都市左京区山ノ内御堂殿町36-1-504
原 弘美 方
TEL 090 (8651) 9241

会長 藤木 勉

沿革 東京オリンピックが開催された年、昭和39年(1964)
10月3日設立。鞍馬口病院院長、美馬陽氏を会長に会員
40名でスタート。

年間行事 花見(四国合同、仁和寺)、総会、鴨川納涼
祭徳島県物産販売、紅葉狩&忘年会、全国女子駅伝応
援&選手慰労会&新年会。

特色 本年度50周年事業の一環として記念誌を作成し
温故知新の精神を高め、IT化推進により、徳島県情報
を更に発信する。

京都佐賀県人会

県花＝橘の花 県木＝橘 県鳥＝かさざぎ

〒602-0943 京都市上京区小川通り一条上がる
草堂町589 (株)メービス内
TEL 075 (431) 8032

会長 大井手 常時

沿革 京都佐賀県人会は昭和26年設立。現在140名の
登録で、初代会長から現在で8代目。平成23年創立60
周年記念事業遂行。県人会会報11号発行予定。

年間行事 6月総会、8月鴨川納涼祭、11月九州連、12
月ふるさと連懇親忘年会。1月全国都道府県対抗女子駅
伝。同日マラソン選手慰労会及び県人会新年会。

特色 会員の高齢化が増す中で、世代交代が順調とは言
いにくいのが割と進んでいる方だ。はがくれ精神旺盛で橘
の太木をがばいばーちゃんが支えている。

京都愛媛県人会

県花＝ミカン 県木＝マツ 県鳥＝コマドリ

〒600-8884 京都市下京区西七条南衣田町11
京都武田病院内
TEL 075 (312) 7023

会長 武田 敏夫

沿革 平成12年10月再興結成(昭和38年設立後、平成
7年12月解散。5年間の空白を経て再興)。平成26年度
第15回年記念総会を盛大に開催した。

年間行事 総会、鴨川納涼での物産販売、全国女子駅伝
の応援・慰労新年会、高校駅伝の応援、ふるさと訪問旅
行、同好会活動(俳句・ハイキング等)。四国人会総会。

特色 毎年10月に会報誌を発行。「媛の国」愛媛と京都
のかけはしとして、会員相互の友好をはかる。

京都宮崎県人会 県花＝はまゆう 県木＝フェニックス 県鳥＝コシロヤマドリ

〒620-0802 京都府亀岡市北河原町2-4-8-501
TEL 0771 (24) 8649

会長 井福 正憲

沿革 京都宮崎県人会の創治は、柳田孝(初代会長)他12名の同郷の友が、真夏の夕涼みに上七軒で杯を傾けながら話に出たのが最初である。昭和39年秋に京都府警察官を主力に50名で第一回総会が開かれた。

年間行事 皇后杯都道府県対抗女子駅伝応援、慰労会。全国高校駅伝応援。全国車いす駅伝応援。全国高校野球応援。総会。鴨川納涼。パーベキュー懇親会。

特色 ホームページにて情報を公開し新入会員も増えている。特に九州各県人会は九州は一つの合言葉のもと結束し行動を共にしている。明るく楽しい会が特徴である。

京都長崎県人会

県花＝雲仙ツツジ 県木＝ツバキ 県鳥＝オシドリ

〒600-8894 京都市下京区西七条市部町92
近藤 高志 方
TEL 075 (313) 6897

会長 高谷 功

沿革 昭和39年4月1日長崎県人会が発足し(初代会長／岡本秀雄氏)途中、平成3年3月、長崎県友の会と合併し、新生長崎県人会として再スタートした。

年間行事 1月新年互礼会及び女子駅伝慰労会、3月、8月高校野球応援、6月総会、8月鴨川納涼、11月日帰りバス旅行、12月全国高校駅伝応援、他県人会との交流

特色 鴨川納涼でのカステラ販売、女子駅伝での皿うどん販売等、郷土色を生かした活動で会員間の親睦を深めている。又、大阪、神戸の県人会とも交流している。

京都鹿児島県人会 県花＝ミヤマキリシマ 県木＝クスノキ 県鳥＝ルリカケス

〒600-8009 京都市下京区四条通室町東入
函谷鈴町88番地 ケイアイ興産株式会社内
TEL 075 (256) 6056

会長 稲盛 和夫

沿革 当会は、昭和39年11月に発足。初代会長は原清志氏である。今年は発足から50周年を迎え今年8月24日には、270名の会員が参加し盛大に記念事業を開催した。

年間行事 ①総会②新年祝賀会③林光院、即宗院清掃作業④薩摩九烈士追慕会⑤ゴルフ大会⑥お花見⑦関西かごしまファンデー、ふるさと連等への参加⑧会報発行 等

特色 鹿児島と京都は明治維新、大正、昭和と日本の近代化、京都の発展のため、血と汗を流した多くの史実がある。旧薩摩藩遺跡の顕彰・保存が特色である。

京都熊本県人会

県花＝りんどう 県木＝楠 県鳥＝ひばり

〒617-0847 長岡京市高台2丁目1-28
徳永 吉廣 方
TEL 075 (954) 4968

会長 内田 憲幸

沿革 昭和40年代に京都産業大学創立者荒木俊馬氏を会長に県人会が活動していたが自然休会。昭和60年10月27日右田明氏を初代会長に再発足。

年間行事 1月女子駅伝応援慰労新年会、5月総会、8月鴨川納涼協力事業、4月花見、11月長岡京市ガラシャ祭り、8月高校野球・12月駅伝・ラグビーの応援。

特色 ホームページの開設、県のキャラ「くまモン」の活用、郷里の自治体・県大阪事務所と連携を密にして活性化を図っている。宇治・乙訓の2支部がある。

京都沖縄県人会 県花＝ディゴ 県木＝リュウキュウマツ 県鳥＝ノグチケガラ

〒602-8347 京都市上京区四番町121-5 大湾 宗則 方
TEL 075 (467) 4437

会長 中尾 克子

沿革 1987年5月結成。初代会長／座喜味康夫。二代／豊里友良。三代／松日州弘。四代／伊志嶺玄公。五代／津覇実雄。六代／津覇正子。七代／大湾宗則。八代／玉城辰夫。

年間行事 春／総会、花見、沖縄芸能フェスタ。夏／鴨川納涼祭とビアパーティ。秋／沖縄反基地連帯行動、あわもり同好会。冬／新年会、高校及び全国女子駅伝応援。

特色 在日米軍基地・沖縄という理由から親睦団体であると同時に基地のない平和なふるさとを求めて、ふるさとの人々と喜怒哀楽をともにする活動。

京都大分県人会

県花＝豊後梅 県木＝豊後梅 県鳥＝めじろ

〒603-8578 京都市北区上賀茂松本町43-2
衛藤 正利 方
TEL 075 (711) 3177

会長 佐々木 孝敏

沿革 昭和9年設立準備会発足、昭和13年6月第一回総会。戦時休会を経て活動再開。平成15年11月創立70周年記念式典。本年で創立81周年となる。

年間行事 年度当初役員会、春の総会、鴨川納涼協力事業、物故会員慰霊行事、秋の集い、全国高校駅伝・都道府県対抗女子駅伝・車いす駅伝応援激励、年度末役員会。

特色 歴代の役員や会員には京都の各界で活躍した人が多く、歴史と伝統を有している。近年は、「日本一の温泉県・大分」の知名度アップに頑張っている。